

長野県労働組合連合会（県労連）

長野市県町593 Rinks593 3F TEL026-217-9071 Fax026-217-9073

☑ krn@mx2.avis.ne.jp http://kenrouren.assrv.com/



24春闘 学習交流集会

県春闘共闘は12月9日、長野市で24春闘学習交流集会を開催。109人が参加しました。第一部は、全国革新懇の代表世話人を務める石川康宏 神戸女学院大学名誉教授を講師に「資本主義のしくみと労働運動～賃上げ、ジェンダー平等、福祉国家」題した学習講演を行いました。



石川氏は日本が軍拡に突き進む一方で長時間労働、低賃金、ジェンダーギャップなど改善が進まない現状が、金儲最優先の資本主義の宿命であることを資本論を引用し、分かりやすく説明。改善の方向性としてデンマーク(最賃2100円、週37時間労働でも高い生産性を上げている)を例にあげ、改良された資本主義社会が現にある。時間は要するが先進的な国から学び実行する力を培っていけば実現できると語りました。

世界各地で大規模なストを背景に様々な権利を獲得している情勢を紹介し、日本でもそういった運動が広がっていると24春闘での奮闘を呼びかけ締めくくりました。

第2部では春闘方針提起があり、続く討論では6人から官民一体の取り組みの重要性、最賃近傍で働く労働者の闘いなどの発言がありました。

飯伊地区労連化学一般大王パッケージ長野労組からは、23春闘での72時間ストに踏み切った経験を活かし24春闘に臨みたいと決意が語られました。

参加者からは、「資本主義社会に生かされていると改めて痛感した」「ストをしなければ給与上がらない」などの感想が寄せられました。



いのちと平和、暮らしを守る政治の実現をめざして、みんなで声を上げよう

国会会期末宣伝

県春闘共闘と長野地区春闘共闘は、臨時国会が閉会した翌日の14日、国会会期末宣伝を長野駅前で行い、10団体22名が参加しました。

宣伝では、県春闘共闘、県教組、年金者組合、長野地域民医労の4団体が、イスラエル・パレスチナ自治区ハマスの即時停戦を訴え、物価高騰が生活に大きな影響をもたらしている様子や最賃引き上げの重要性、教職員の長時間過密労働、年金が引き下げ続けられていること、医療・介護労働者の人員不足や厳しい労働環境などを報告し、改善を訴えました。

岸田政権の支持率は17.1%と1割台にまで落ち込んでいます。私たちのいのちと平和、暮らしを守る政治の実現をめざして、引き続きみんなで声を上げていきましょう。





県労連情報

発行
2023年
12月20日
46-④

長野県労働組合連合会（県労連）

長野市県町593 Rinks593 3 F TEL026-217-9071 Fax026-217-9073

✉ krn@mx2.avis.ne.jp http://kenrouren.assrv.com/



県労連女性部定期大会・学習会

11月23日（木・祝）に、県労連女性部定期大会、学習会を開催しました。例年、午前中ははたらく女性の長野県集会、午後には県労連女性部定期大会を開催していましたが、「はたらく女性の中央集会in長野」を開催したため、長野県集会は2月に県要請のみ行うことになり、午前中定期大会、午後は学習会と終日の活動になりました。



定期大会は39人（代議員17人、傍聴14人、役員7人、全労連女性部1人）で会場26人WEB 13人の参加でした。「はたらく女性の中央集会in長野」の実行委員会を通して、中央とのつながりが強くなったことから、舟橋全労連女性部長に初めてご挨拶をいただき、午後は他の組織の大会が控える中、時間の許す限り参加していただきました。終了後、「それぞれの県労連女性部の運動や組合員のみなさんの頑張りを直接お聞き

する機会がなく、オンラインとはいえ、参加させていただきましたことにお礼を申し上げます。あらためて、お互いの実情を知りあり、つながっていくことの大切さと、長野県労連女性部が、そのつながりを運動として自覚的に高め、進めていこうとしていることに、敬意を表します。」とコメントを寄せていただきました。

学習会は48人（会場28人、WEB 20人）で、他組織にも広く呼びかけ、組織外から3人が参加していただきました。昨年の「はたらく女性の長野県集会」でもご講演いただいた、四季レディースクリニック院長の江夏亜希子さんから、「知って守ろう 女性の身体、女性の権利」と題して、90分を超える熱い講演をお聞きしました。

「ユーモアあふれる語り口調で楽しみながら自分の体について改めて深く学ぶことができました。軽やかな口調で医学的な知識を日本の社会の問題点や女性のおかれている状況を鋭く切り込んでいただき、有意義な充実した時間でした。」「女性の体を守るために、まずは知ること、正しく知識をつけることが大切だと改めて感じました。」「看護師や医療現場も、私たちと同じく、代わりがない。使命感でやっている。こんな状況で命を預かるなんて、仕事としても重すぎます。労働環境の改善を強く要求したいです。」など、多くの感想が寄せられました。

12月8日太平洋戦争開始の日「ガザ停戦」を求め宣伝

太平洋戦争（1941年12月8日）の日、県下各地で宣伝行動が取り组まれました。長野駅前では、県労連、平和委員会、原水協、憲法会議、9条の会、母親連絡会などが合同街宣を実施。

「ガザの即時停戦」「核禁止条約国会議への参加」などを訴えました。母親連絡会は赤紙（召集令状）のコピーを配布しながら、「この赤紙が2度と配られない時代にしなければならない」と語りかけました。

